

教科・科目	学年学科	単位数	教科書	使用教材
家庭・家庭基礎	2	2	家庭基礎 自立・共生 ・創造（東京書籍）	
科目の概要と目標	・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族や家庭生活の在り方、乳幼児と高齢者の生活・福祉について理解し、共に協力して家庭を築くことの重要性を認識する。 ・衣食住や消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、生活を主体的に営む力と実践的な態度を身につける。			
単元	学習内容	到達度目標		
自分らしい人生をつくる	生涯発達の視点	・各ライフステージの特徴と課題を理解する。		
	家族と法律	・家族・家庭に関する基礎的な法律を知る。		
	生活を支える仕事と生活時間	・家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。		
子どもと共に育つ	子どもの育つ力を知る	・子どもの育つ力と発達段階を知り、親・家族や周囲の人々の関わり大切さを学ぶ。		
	親として共に育つ	・児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。		
	これからの保育環境	・高齢期の心身の変化や特徴を理解する。		
高齢社会を生きる	高齢期を理解する	・高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。		
	高齢者の心身の特徴	・社会保障制度の理念と内容を理解する。		
	これからの高齢社会	・多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解している。		
共に生き、共に支える	私たちの生活と福祉	・日常的な食品の栄養的特質について理解する。		
	社会保障の考え方	・食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。		
	共に生きる	・食生活の変化を知り、環境や食料自給率の問題を考える。		
食生活をつくる	食事と栄養・食品	・被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味を理解する。		
	食生活の安全と衛生	・被服に適した洗濯や保管方法を知る。		
	これからの食生活	・住居の機能や間取りについて理解する。		
衣生活をつくる	被服の役割を考える	・室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解する。		
	被服を入手する	・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識する。		
	被服を管理する	・消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。		
住生活をつくる	住生活について考える	・今までの学習を踏まえ、これからの生活設計を立てる。		
	住生活の計画と選択	・ホームプロジェクトを通して、生活課題を発見する視点やその課題を解決するための手立てについて理解を深める。		
	これからの住生活			
消費生活を営む	職業生活を設計する			
	現代の消費社会			
	消費者の権利と責任			
生活を設計する	生涯を見通す			
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト			
	学校家庭クラブ活動			

